

## 中等 10 回生、卒業!

3月1日、中等10回生の卒業式が行われ、105名が中等での学びを終え、次のステージに飛び立ちました。先生や在校生(11回生)、そして保護者の皆様に見守られる中、一人ずつ井上校長から卒業証書が授与され、最後には10回生全員で『君が君に歌う歌』を合唱し、終始心温まる素敵な卒業式でした。

### 10 回生 学年幹事より

10回生同窓会幹事になりました、鈴川裕基と林里奈です。卒業式から早くも1カ月が経ちましたが、いまだに卒業したことが信じられないような心地がします。皆さんはどのようにお過ごしでしょうか。

私たちの学校生活は大半がコロナウイルスの影響で制限を受けてきました。修学旅行、行事、日常生活などあらゆる場面においてこれまで当たり前に行われてきたことが出来なくなった中で、皆さんは新たな解決策を探るべく日々奮闘していたことと思います。学年が上がり、学校の中心になるにつれて更に力を発揮していく10回生の姿は、同じ学年にいた私達の目にも輝かしく映りました。体育祭でピンク色のTシャツを着て全力を尽くす姿も、音楽祭でクラス一丸となって手を叩く姿も、兔原祭で校舎を駆け回る姿も、どの場面も印象的でした。そんな皆さんと6年間、共に学びながら過ごせたことをうれしく思います。そしてきっと、個性豊かな仲間達と多感な時期を過ごす中で、刺激され、心を動かされてきたのは私達だけではないでしょう。それぞれの特性を活かした独自のセンスを集約して物事を大成させていく10回生を、誰もが面白く、楽しい集団だと本気で感じていたはずです。

卒業を迎え別々の道を進む皆さんは、これから様々な経験をすることになります。その間、何事にも代えがたい10回生との時間が恋しくなったり、また皆と会えるのだろうかと思案したりする瞬間が、ふとやってくるかもしれません。今できることは限られていますが、ひとまずは幹事としての責任感を胸に、皆さんと過ごしたかけがえのない時間を糧として前へ進んでいきます。

皆さんも「帰ってくる場所がある」ことを心の片隅に置いて、自分を信じ、明るい未来を掴まれることを願っています。

### 10 回生 学年主任の大谷先生より

入学式で緊張した面持ちで六甲台講堂に入場してきたあの日から6年があっという間に過ぎていきました。基礎期では神戸市内をはじめ奈良、東大阪など数多くの場所へFWに出かけました。行く先々での新たな発見、持ち前の探究心で学びを深めていきました。充実期はコロナ感染症の影響で沖縄への研修旅行が中止となるなど行事や授業など多くの制限を受けましたが、今できることを全力で楽しもうという姿勢で、仲間と過ごす時間を彩り豊かなものとししました。そして発展期では学校のリーダーとして、下



(左から) 10回生学年幹事の林里奈さん、大谷麻子先生、鈴川裕基さん

級生の憧れの先輩として成長していきました。特に兔原祭や体育祭では、中心となる実行委員のリーダーシップはもちろんのこと、支えようとするメンバーシップで丸となって盛り上げていく姿勢は後輩の見本となりました。北海道への修学旅行では、行程、プログラムの内容、進行など、すべて自分たちの手でやり遂げました。最後の音楽祭、そして卒業式で歌った『君が君に歌う歌』はこの6年間、そしてこれからの人生に向けて、素晴らしいエールとなりました。

私たち教員も10回生から多くのことを学びました。ともに過ごした時間はこれからも一生忘れることはないでしょう。本当に楽しい時間をありがとうございました。

10回生の皆さん、この神戸大学中等教育学校を卒業していくこととなりますが、これからは同窓会の一員として先輩方とともにこの学校を支えていってほしいと思います。

(10回生学年主任 大谷 麻子)



井上校長と10回生の先生方は全員和装で卒業式に臨まれました

## 8回生が成人の日に同窓会!



1月8日、8回生が晴れて成人の日を迎えました。午前中はそれぞれの出身地区での記念式典に参加し、久しぶりの再会を楽しみました。成人式の後に神戸メリケンパークオリエンタルホテル様にて8回生の同窓会を開催致しました。

冒頭では中等6年間を振り返るビデオを放映し、とても懐かしい気持ちになりました。その後は各々、近況報告や大学での出来事など様々な話に花を咲かせました。

6年間で8回生に携わってくださった先生方にも参加していただきました。中盤では附属にまつわるクイズ

を行いました。当時を思い出すような問題やかなりの難問もあり、とても盛り上がりました。

最後には、学年全体写真を撮影しました。2時間があっという間に過ぎてしまい、会の終わりを惜しみながらの撮影になりました。卒業して少し大人になったみなさんと写真を撮ることが出来て、とても嬉しかったです。

卒業してから2年近く経とうとしているにも関わらず、昨日も会っていたかのような感覚で、また附属に「帰ってくる」ことが出来ました。8回生のみなさん、先生方、参加して下さりありがとうございました。

また第2回も開催したいと考えておりますので、その時は是非ご参加ください。再び8回生のみなさんと会えることを楽しみにしています。

(8回生 門 凜華)



## ～学校からのお知らせ～

### 「卒業生サポーター」登録のお願い

去る3/1に本校もついに第10回卒業式を挙行し、同窓会にも10世代目が入会いたしました。たくさんの卒業生から本校教育にご支援賜り、誠に有難い限りです。

さて、昨年から、卒業生の皆様に「卒業生サポーター」への登録をお願いしており、既に1回生から10回生まで100名を超える皆様からご登録いただいております。まだの方でご関心がおありでしたら、ぜひ<https://forms.gle/FurIpitWZ7M4rFhWA>からご登録お願いいたします。その際、自動返信メールは保存いただき、情報に変更があれば随時更新頂けますと幸いです。進学・就職等で所属が変わった際、また情報の消去を希望される場合は、自動返信メールの「回答を編集」より情報の更新をお願いいたします。

今年度は、キャンパスツアーの引率や、進路についての個別相談で登録者の何名かにお声掛けさせていただきました。次年度は、就職されている方々にもお声かけする機会を作れたらと考えております。

今後とも本校教育に暖かいご支援を賜れますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

### 寄付のお願い

母校の教育活動の支援のため、寄付へのご協力よろしく申し上げます。



附属学校部 HP : <http://www.schools.kobe-u.ac.jp/donations.html>



15回生(1年生)キャリア教育  
神戸大学キャンパスツアー

## 中等生の活躍!!

(一部抜粋)  
2024年3月 ver.

### ■ ESS部

第9回PDA高校生英語ディベート全国大会  
Quarter Finalist Team Prize  
兵庫県高校生英語ディベートコンテスト  
第3位

### ■ コーラス部

兵庫ヴォーカルアンサンブルコンテスト2024  
青少年の部 金賞 ほか

### ■ 吹奏楽部

兵庫県アンサンブルコンテスト  
高等学校部門 銀賞

### ■ 男子テニス部

兵庫県中学校冬季テニス大会  
男子団体 第1位  
兵庫県公立高等学校テニス大会  
個人の部 優勝

### ■ KP

高校生国際シンポジウム 最優秀賞 ほか

### ■ 数学科

統計グラフ全国コンクール 入選 ほか

### ■ 国語科

全国学芸サイエンスコンクール 金賞 ほか

## 学校NEWS短信

### 齋木先生が校長先生に 7名の先生が離任される

2015年度より副校長として勤務されておられた齋木先生が、2024年度より校長先生に昇任されました。

また、井上校長、8回生の学年主任を務められた藤本先生、同じく学年主任として3月に10回生を送り出された大谷先生、2013年度から勤務されていた副島先生と、北代先生、玉久保先生、大西先生の計7名が2023年度末をもって母校を離任されました。

## 1回生の同窓会を開催!



1月7日(日)、大阪新阪急ホテルにて成人式以来8年ぶりのとなる1回生の同窓会を開催しました。卒業生42名と水嶋先生、上村先生、平松先生、赤松先生、吉田先生、長田先生、百元先生の計7名の先生方のほか、オンラインで宇都宮から瀧本先生にもご登場いただきました。



正午開始で使用時間を最長のプランに設定しましたが、2時間半があっという間に過ぎ、その後2次会、3次会と終電まで終始楽しい時間を過ごした卒業生も…! 久しぶりの再会で話が全く尽きない様子を見ながら、開催して良かったなと心から感じました。

次は30歳の節目に、さらに多くの参加者で開催できればと考えています。1回生の皆さん、その時もよろしく!

### 卒業生だより

## 湯生 晴子さん [中等1回生]

お久しぶりです、あるいははじめまして。1回生の湯生(ゆぜ)です。「栄光の架橋」を涙目で合唱しながら附属を旅立った春からちょうど九年が経ちます。

その後のことを順に追うと、鴨川沿いの学生ライフに憧れて京大の総合人間学部を受けたものの、0.5点の差で落ちてしまい浪人を決意しました。駿台神戸校で愉快的浪人仲間にもまれて規律と努力の1年間を送り、翌年の春に東大に合格しました。入学時点では専攻を決めておらず、法(文I)でも経済(文II)でもない何かという意味で文科三類を選びました。文IIIの人間は常日頃何かを悩み考えながら生きている人が多い印象で、固定観念に縛られない風土が自分に合っていてとても好きでした。最初の1年半は学部を選択しなくていいので英米文学やら土壌科学やらバドミントンやら興味が赴くままに授業を選びましたが、大学2年生の夏に「進振り」という学部選択のときがやってきました。何を勉強したいのかわからず迷っていたところ、ある日スマホが大音量で鳴りはじめ「ミサイル発射、ミサイル発射」と表示され、寝起きのまま地下に走っ



### Haruko Yuze

在学中は吹奏楽部の初代部長を務めたほか、文化祭の実行委員を務めるなど学校行事で躍動した。2020年に外務省に入省した。



現在はケンブリッジでの  
キャンパスライフを満喫中

て避難しました。今ここで北朝鮮のミサイルに潰されるかもしれないという恐怖と無力感が私に国際関係論を専攻として選ばせました。東大の国際関係論コースは30人にも満たない小さな集団で、ハードなゼミと授業にこてんぱんにされながら国際政治・国際経済・国際法の3分野に向き合いました。勉強に加えて吹奏楽にサクソアンサンブルにバイト掛け持ちにと目まぐるしい日々で、気付けば同期は皆就活を始めていました。またしても何をしたいのか迷っている間に民間企業を全部落ちてしまい、「ニートも前向きに捉えよう！」と腹をくくっていたときに外務省に受かりました。今振り返れば、ミサイルが発射された朝から外務省入省までが当然の起承転結かのように聞こえますが、当時はただただ目の前のことに必死でした。外務省入省後2年間は霞が関で南アジアとの外交に携わり、3年目から英国に派遣され今はケンブリッジ大学で修士論文を書いています。今年の夏にはどこかの国の大使館に配属され、ついに外交官デビューを果たす予定です。

日本に正式に戻るのは数年先ですが、実は年始に少しだけ一時帰国し、中等1回生の同窓会に行ってきました。解散後もなかなか別れ難く、2次会のカラオケに3次会のラーメンと思い出深い1日でした。同窓会に限らず、ヨーロッパでも附属生に会ったり、神戸から友達が遊びに来てくれたりと、卒業後も附属との縁は全く途切れません。そして附属の仲間に出会うたびに思うのですが、附属生は清々しく毒舌で、自分の好きなものに無我夢中で、鉄壁の自己肯定感に満ち溢れた子どもらしい存在だなと。伝統もなく先輩もいない中、ある意味自然状態で育てられたカオスな私たちはその後社会に出ても（あるいはアカデミアに残っていても）附属らしさを全面に出しながら生きている気がします。教室の壁に「自治・協同・創造」という標語が掲げられていたのを今でも覚えています。それは附属生の強みを要約した言葉でもあるかと思います。自らがみつけたすてきな何かを（自治）他人を巻き込みながら（協同）新しく創り上げる（創造）のが得意だなと。

一方で、型にはまった仕事をするだとか、前例をなぞるのが附属生の苦手分野ですかね。私も仕事をしていて、先陣に立って切り拓くのは好きだけど先人たちについて行くのは苦手だなとつくづく思います。特に入省したての1年目は右も左もわからず先人たちについていくほか道がなく、日々「まともな社会人」の仮面を被って無表情で働いていました。が、幸いなことに、仕事を続けているうちに徐々にまわりから信頼されるようになり、それとともに面白い仕事を任せてもらえる機会が増え、2年目にもなると湯生らしい奔放な発想がむしろ応援されるようになりました。ブレーキは必ず他の誰かが



中等11回生の  
英国研修での一幕

かけてくれるから、湯生はアクセルを思いっきり踏み込め、と上司に言われたときの高揚感は今も私の仕事の原動力になっています。この感覚は私に限らず、多くの附属生に共通するものなのではないでしょうか。我々は、自由に走りまわられる空間があってこそ強みを発揮できる。逆に、堅苦しい環境の中では上手くやっていけない。日本社会においてそういう人間がどれほど珍しく貴重なことか、卒業してから知りました。強みも弱みもひっくるめて私はそんな附属生が大好きで、みなさんに会う度にその強烈なまっすぐさに笑わされ、力をもらい、私も負けてられへんと意気込んでいます。

と、ここまでは現役の生徒よりも卒業生仲間に向けたラブレターになってしまいましたが、実は年始に現役の11回生たちに会う機会がありました。英国研修で神戸からやってきた彼らにロンドンとケンブリッジで会い、今の附属の話聞かせてもらったり、進路相談から英国マナー講座まで色んなことをざっくばらんに話しました。11回生は私の10個下の代にあたるわけですが、彼らの話から附属が10年前に比べて随分と進化を遂げた印象を受けました。発展を誇らしく思うと同時に、一抹の寂しさもありました。設立からこれほどの年月が経つと前例や伝統が形成され、徐々に身動きが封じられていくのが世の常かもしれませんが、これからも伝統に捉われない自由が附属の伝統として受け継がれたらなと願います。

### 【英国研修で湯生さんとお会いて】

1月末に行った英国研修で、本校1回生で現在外務省にお勤めの湯生晴子さんをお招きした会食の場を2度も設けていただきました。1回目の会食は、ロンドン到着日の夕食でした。一人一人の質問に答えていただき、ケンブリッジ大学に通う湯生さんならではの貴重なお話や、ご自身のこれまでの進学選択、手帳のススメなど個人的なお話まで、今後の人生の糧になる様々な話を聞かせていただきました。2回目は最終日の最後の昼食でした。この6日間の研修を通してそれぞれが学んだことを聞いていただきました。自分の強い意志を貫き、目標を実現する湯生さんの姿に非常に感銘を受けました。このような貴重な機会を設けていただきありがとうございました。

(11回生 西本 朱里)



## ～同窓会からのお知らせ～

■ 今年もホームカミングデイを開催します!： 昨年に続き、今年も兔原祭の開催日(5月18日(土))にホームカミングデイを開催します。教室を1部屋借りて卒業生が集まれるスペースを提供しますので、是非お誘い合わせのうえご参加ください。詳しくは4月中旬頃に学年幹事を介してお知らせします。



### 【編集後記】

鴨川沿いでキャンパスライフを送り、関西のインフラ企業に就職した私(小黑)ですが、この4月から2年間「東の京都」勤務となりました。初めて関西を離れることになり、不安と期待が入り混じっている今日この頃です。首都圏の卒業生の皆様、是非仲良く接していただけると幸いです。

卒業、進学、就活、入社、異動など人により状況は色々かと思いますが、どうぞご自愛ください。

(次号は2024年6月30日発行予定です)